

【22_238技術系メルマガ】『時間帯別の特徴』から決めるセットアップ

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今回はまた、テクニカル主体の話をしていきますが

テーマは『短期足のセットアップ』になります。

「いい加減、同じ話をくどくどしつけーぞ」と言いたい気持ちもあるかもしれませんが

繰り返して話すことほど、それだけ大事と言う意味で、どうかご理解下さい(笑)

┌
└─┬─ 『短期セットアップ』は大事！・・・なんだけど
└──────────────────┘

これまでメルマガでも何度も解説してきているように

『短期足のセットアップ』というのは、要するに自分がトレードする際の

【エントリーのトリガー(この形になったら、僕入っちゃうよ)】という最終的なサインです。

僕は、LN時間初動に発生する『H1足の新しい波の初動』を狙うのが基本戦術なので

『MAの収縮+3波』をM15~M5足レベルで見えてトレードをしていきます。

(この時、上位足の環境から空間幅を確認するのが重要なのですが、そこまで話を広げるとこのメルマガが終わらないので、今回は割愛します)

ということは、このセットアップは基本的にLN時間にトレードするのが主体の人にとっては有効ですが

「他の時間帯」を中心にトレードする人にとっては、そうもいかないという事になるわけです。

例えば、家事・育児の分担具合であったり、日常の業務上の都合で

僕とはチャートが観られる時間帯が違うという人も多いと思います。

実際、僕の周りでも、朝活のトレードだけに特化している人や、NY時間を中心にトレードしている人も多くいます。

そんな人たちはどうしているのか？というと

検証段階で、自分が無理せずトレード出来る時間帯に発生する『短期足のセットアップ』を定義づけて

それに沿ってトレードをしているのです。

実際どうやっているのか知りたい人もいるでしょうから、先日そのヒントとなるツイートをしました。

▼ヒントはこちら▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1561871506300600320?s=20&t=LfpDA89uWhdsN6hKRrfmQ>

これはサロン内の仲間が体系化してくれたもので、僕だけで作られたノウハウではないので、詳細までは説明できませんが

例えば朝活であれば、動き出す前の段階で『M15足のMAが収縮』しているケースは少ないです。

が、よく観察すると1段階 時間足を落としたM5足では、『MAの収縮から動き出しの3波』が発生する

LN時間の初動と似たような動きをしている傾向が見えてきます。

あとは、東京時間のボラティリティですので、取り得るリワード幅が小さいことを考慮しつつ

あくまで『取るリスクとリワードのバランス』をよく見て、自分がどこでエントリー～決済をするのか

検証、テストを通じて決めていきます。

これは、情報の細かい捉え方が違うだけで、NY時間のトレードであろうが

その他の異なる手法でアプローチをしようが、基本的な考え方はすべて同じです。

- ・自分がどんなセットアップでトレードするかを決める
- ・見送る条件を決める(クロの場合は、上位足の空間が充分でなければ見送り)
- ・実際、そのルールで『トータルで勝てる』のかをテストする(2~3カ月が目安)

大体、この手順を外さなければ

どんな時間帯でトレードするにしても、いつも自分の決めたセットアップに従って

トレードする一貫性は身についていくはずで。

当たり前ですが、それが定着するまでには時間がかかります。

その手間を惜まず『技術』を磨く事こそが、トレードで身を立てる唯一の王道であることを理解してもらえたらと思っています。